

第6回地盤工学会関東支部発表会 優秀発表者賞を受賞！

M1 山田泰彰君

2009年11月12～13日に栃木県総合文化センターで行われた第6回地盤工学会関東支部発表会（Geo-Kanto2009）において、社会環境デザイン工学専攻コンクリート研究室修士課程1年生の山田泰彰君が、優秀発表者賞を受賞した。本賞は、学生や若手技術者の優れた講演に対して与えられるものである。

山田君の受賞対象となった研究論文のタイトルは、「溶脱劣化したセメント改良砂の強度および変形係数の低下における養生日数の影響」で、半井健一郎准教授との連名によるものである。本研究は、セメント改良砂のカルシウム溶脱劣化を、養生日数に着目して検討したもので、水との接触によってセメント硬化体からカルシウムが溶け出し、強度や剛性が低下する劣化現象を、独自に考案した促進劣化手法によって定量評価した。今回の検討範囲内では、養生日数の影響は小さく、これまでの検討と同様に、溶脱劣化割合に応じた線形的な性能低下が確認できることを示した。優れた研究発表方法や質疑応答内容、コンクリート分野からの取り組みの新規性が評価されたものと考えられる。

なお、山田君は、土木学会全国大会に引き続いての受賞となった。

